

2012年度「美の国アクティブカレッジ」開講

《美の国アクティブカレッジ総合開講式》
《開講記念講演》

6月2日(土)

於: 秋田県生涯学習センター

去る6月2日(土), 平成24年度美の国アクティブカレッジの総合開講式と開講記念講演が開催されました。

「美の国カレッジ」は今年度より「美の国アクティブカレッジ」となり, 新たなスタートを切りました。“アクティブ”には, 学ぶだけで終わらない, 学びを“行動”に移していくという積極的な思いが込め



総合開講式全景



奨励証の授与

ター所長)のあいさつに続き, 130名を超える参加者全員で県民歌が高らかに斉唱され, 開講式が終了しました。

開講式の後, 前秋田大学学長・医学博士の三浦亮氏が「日本の医療, 秋田の医療 ～社会・経済・技術・学問の急激な変化の時代を迎えて～」と題した記念講演を行いました。医療の現状と課題, 大学病院が地域に果たす役割などについて, さまざまなデータや氏のこれまでの取り組みから興味深いお話が繰り広げられました。

られています。

総合開講式では, はじめに5人の方に副学長より奨励証が授与されました。奨励証は個人が修得した「単位」の累計により授与されるものです。単位は, 講座の受講や個人ごとの学習活動に応じて修得が認定されることになっています。今回受証されたのは, 100～500単位を修得された方々でした。

この後, 金森副学長(県生涯学習セン



開講記念講演・三浦 亮氏

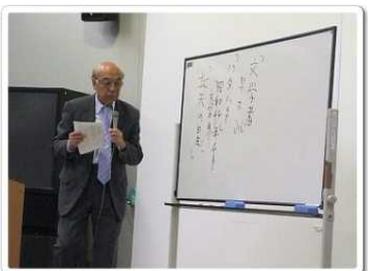
シニアコーディネーター企画講座から



総合開講式に先立ち、4～5月にかけて、シニアコーディネーター企画講座「東日本大震災に学ぶ」が開催されました。震災から1年余が過ぎ、報道では主に復興に向けた話題が多くなっていますが、全5回の講座が次のような内容で開かれました。受講者の方々にとっても、改めて震災をとらえ直す機会となったようです。



- ①「災害と報道」
災害報道のあり方や使命について考察
- ②「人類と放射線災害」
医学的見地から今回の震災を考察
- ③「地震と景観」
地震と建築物そして自然の景観の関連を考察
- ④「災害と文学」
文学に記された津波の記録を現地視察を交えて検証
- ⑤「避難の実態」
原発事故と地域住民の生活の実態を多様な資料から検証



受講者の方々からは次のような感想が寄せられました。



「命が助かった方は、これからの未来のことを考えて、一番よい方法を選択してほしい。」

「報道では知り得ない現実を知ることができた。」

「知らされてこなかった事実に憤りを感じる。」

「震災を契機に物事の考え方で根本的に変わった。他人事でなく、自分自身の問題ととらえなければと思った。」



また、

「この講座をさらに掘り下げたものにしたらどうか」

「改めてシリーズにするべき」

などのご意見も多数いただきました。

今回の講座が未曾有の大災害に対して、新しい視点を提案する一助となったようです。

連携講座のご案内

連携講座についてのご案内です。連携講座は県生涯学習センターと他機関・団体等とのコラボレーション講座です。今年度は「不思議！キノコゼミ」（春・秋各1回）、「明快！Artゼミ」（全3回）、「発掘！考古ゼミ」（全3回）が予定されています（一部は既に実施）。各講座とも受講料は無料（材料費等、実費を除く）ですので、ぜひお申し込みください。「明快！Artゼミ」の1回目は6月22日（金）午後2時から3時30分までで開催される予定です。



【お問い合わせ・お申し込みは】
秋田県生涯学習センター
☎018-865-1171まで